

保健医療課

気になる健康を楽しくチェック  
健康福祉まつり開催

健康と福祉を考える一日として恒例となった「健康福祉まつり」が5月26日、庄原市保健福祉センターと総合体育館周辺を主会場に開催されました。

会場では、健康や体力チェック、歯科相談のほか、整体やカイロプラクティックの無料体験のコーナーなどに行列ができていました。

また、福祉機器などの展示や市内の障害者施設や共同作業所などで活躍している団体のパネルを展示。ステージでは庄原市老人クラブ連合会女性部による「庄原ご長寿音頭」や庄原奇術クラブによる「マジックショー」が披露されました。「3B体操」や「笑いヨガ」などの健康エクササイズ、県立広島大学ダンス部のヒップホップや子どもたちに大人気のバルーンショーも行われ、会場は終日多くの笑顔であふれていました。



3B体操



体力チェックする人

課務総務課  
教育総務課

ふるさとへの思いが届けられる  
東城出身の山脇節恵さんが寄付

東城町出身で広島市西区在住の山脇節恵さんが6月11日、市役所を訪れ、「東城小学校の建替えのために」と1億円を寄付し、木山耕三市長に寄付の目録を手渡しました。

山脇さんは、昭和24年3月に東城小を卒業後、東城中、東城高に進学。その後東京で、川手町出身で夫の修三さん（故人）と木材業を営み、4年前に広

島市へ移住。昨年の東城高の同窓会で、母校の改築工事のことを知り、「私たちには子どもがいないので、故郷の子どものために役に立ててほしい」と寄付を申し出ました。

木山市長は「大変ありがたい。山脇さんの思いに沿って有効に活用したい」と述べ、感謝状を贈りました。



屋内展示コーナーの様子



山脇さん（左）に感謝状を手渡す木山市長

商工観光課

地元雇用の創出に期待  
市営庄原工業団地へ新たに企業が進出

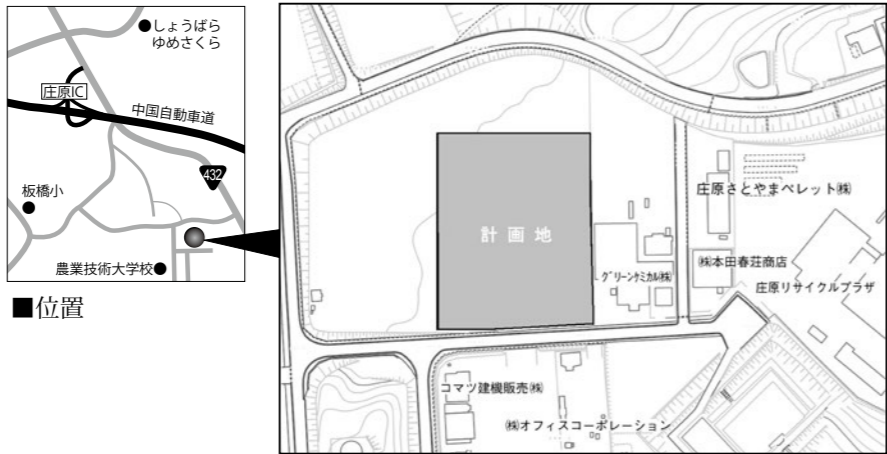
市とタナカシヨードン（田中秀和代表取締役）は6月17日、市営庄原工業団地進出に向けた立地協定の調印式を市役所で行いました。

これにより、市営庄原工業団地への企業進出は10社目となります。

タナカシヨードン（株）は電気・電子制御盤などを主に製造している企業で、今後、アジアを中心に需要が見込まれる繊維工場向け機器の受注増加に対応するため、新工場を建設して生産体制を整える計画です。今後、従業員を20人程度増やす見込みで、地元の雇用の受け皿としても期待されます。



協定書に署名する木山市長と田中代表取締役（右）



位置

■企業概要  
社名 タナカシヨードン株式会社  
所在地 庄原市殿垣内町265番地  
資本金 1千万円  
事業内容 電気・電子制御盤製造  
従業員数 44人

生涯学習課

陸上競技の基本技術を学ぶ  
レベルアップス。ポーツ教室開催

スポーツ技術の向上を目的にしたレベルアップスポーツ教室陸上競技教室および指導者講習会が6月15日、庄原市上野総合公園陸上競技場で開催され、市内の小中学生など83人が参加しました。

参加者は、短距離・長距離・ハードル走・走り幅跳びの4種目に分かれた後、元中国電力陸上競技部でNPO法人ポラーノ派遣特別講師の沖野剛久さんと五十嵐範曉さんから、実技指導を受けました。

また、室内では指導者を対象に、広島陸協専務理事で広島大学教授の東川安雄さんが「発育・発達小学生の指導」と題して特別講義が行われました。当日は雨が降り続きましたが、みんな楽しみながら真剣に取り組んでいました。

日は、広島大学陸上部と庄原市陸協の皆さんも協力。各種目の基本的な体の動かし方やリズムの取り方などを学んだ参加者は「雨の中でもとても楽しかった。今日習ったことを陸上記録会や大会に生かしたい」と話していました。



長距離を練習する参加者